

小学校 第4学年 学級活動(1)指導案

平成27年11月13日(金)

児童数

指導者

1 議題 「みんなで楽しめる学級ギネス大会をしよう」

2 議題について

(1)児童の実態

本学級は男子3名・女子8名の少人数学級である。男子1名は10月に転入したばかりであるが早くからみんなに溶け込み明るく生活することができている。男子3人になったことで友だちの輪が広がりますます元気さを増している。女子は真面目でやるべきことをきちんとやり通そうとする児童が多い。男女の仲も良く当番活動や委員会活動などでは、声をかけ合い助けあっている、楽しく学校生活を過ごそうとする場面が多く見られるようになってきている。

2学期の話合い活動は、「2学期の始まりパーティーをしよう」「運動会を成功させよう」「学級がもっと楽しくなる係活動をしよう」「転入生Aさんをむかえる会をしよう」を行ってきた。学級会に至るまでの計画委員会の役割や事前に自分の意見を持って準備しておくことなども自分たちでできるようになってきた。児童全員が計画委員の司会、ノート記録、黒板記録もひとり経験をし、学級会でも自分の意見を発表し、友達の意見と比べ合っこうしたらいいという意見発表も個人差はあるができるようになってきた。児童は自分たちが出した議題を話し合い、そのことを進めていく過程を通して“学級活動”の楽しさを感じている。

(2)議題選定の理由

運動会の4年生の取り組み種目である一輪車の練習中、「一輪車50m走のタイムを計ろう」ということで一人一人のタイムを計ると、記録更新をしたいとそれぞれが練習をがんばり始め、その後、児童から「いろいろ計ってみたい」という案が上がり、「10人で手つなぎ一輪車に挑戦距離」や、「給食準備のタイムを計ろう」、「帰りの会を何分で終わらせることができるかタイムを計ろう」とタイム測定がブームになっていった。

本議題は、児童の提案によるものである。いろいろな内容で記録に挑戦していくことを「ギネス」ということ知ると、何かにつけタイムを測ったり回数を記録したりという児童の姿があり、係活動でも「ギネス」の内容を取り入れる係が出てきたことで、「ギネス大会をしたい」という議題が提案された。

他に「係のおもしろ発表会をしよう」「ミニミニ運動会をしよう」の提案もあったが計画委員会で「転入生のAさんがまだやっていないギネスを取り入れた内容がいいのでは」という考えの基、今回の議題に選定され、その後全員にはかり決定された。誰もができてみんなで楽しめる内容を考えようというめあてをもって、挑戦したり創意工夫したりする活動を通して、さらに学級内の人間関係を深め、学級のまとまりを作っていきたい。

キャリア教育の視点でもどんな記録に挑戦したいかを自分の言葉で相手に理解しやすいように工夫して伝える力を育成させたいと思う。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてよりよい方法について考え、判断し、協力して実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることや大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 指導方法
11月6日(金) 業間休み	・議題の選定をする。 ①「係のおもしろ発表会をしよう」 ②「ミニミニ運動会をしよう」 ③「ギネス大会をしよう」	・出てきた意見や提案の中から「議題」を決めさせる。 ・決定した議題について帰りの会で全員に知らせ承認を得る。	【関心・意欲・態度】 ・よりよい学級生活づくりのために進んで議題を選ぼうとしている。 <議題カード・観察>
11月9日(月) 昼休み 放課後	・活動計画と学級会ノートを作成する。	・提案理由に自分たちの思いや意義が入るように助言する。 ・話し合う内容や順序、時間配分を考え計画を立てる。	【知識・理解】 ・ギネス大会をするために話し合わなければならないことを理解している。 <計画委員会活動計画>
11月10日(火) 昼休み 放課後	・全員の学級ノートに目を通す。 ・意見を書く短冊を準備する。	・話し合いの見通しが持てるようにする。	【思考・判断・実践】 ・内容が似た意見は重ねておけば活動がスムーズに進むことが分かっている。
11月12日(木) 昼休み	・話し合いの進め方についてシミュレーションをする。 ・準備をする。	・黒板記録は流れが分かりやすくなるように可視化を促す。	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と指導方法
11月6日(金) 帰りの会	・議題を決定する。	・計画員会の提案をもとに全員で決定する。 ・半年の学校生活を振り返らせ原点の学級目標を意識させる。	【関心・意欲・態度】 ・ギネス大会をするとう議題を聞き、みんなで楽しめる内容を考えようとしている。 ＜観察＞
11月9日(月) 朝の会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。	【思考・判断・実践】 ・ギネス大会の目的にあった意見を考え判断し、ノートに書いている。
11月10日(火) 朝の会	・教師からの言葉が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉を記入し、話合いの意欲を高める。	＜学級会ノート＞
11月11日(水) 帰りの会	・学級会ノートに目を通す。 ・自分の意見が言えるように心構えを持つ。	・学級会ノートを活用して提案理由を確認させるとともに一人ひとりにしっかりと意見を持たせる。	【関心・意欲・態度】 ・話合いの準備に自主的に取り組もうとしている。
11月12日(木) 帰りの会	・学級会ノートに目を通し、自分の考えで再確認する。	・自分の意見が言えるように励まし意欲付けをする。	【関心・意欲・態度】 ・話合いの準備に自主的に取り組もうとしている。

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

○ギネス大会を計画することで学級がもっと仲良くなるように気持ちを高めることができるようにする。

キャリア教育でつきたい力

◎相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。

【人間関係形成・社会形成】

(2) 児童の活動計画（別紙）

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉 (歌を歌う) 2 計画委員の自己 紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあ ての確認 5 きまっているこ との確認 6 話合い ①どんなことをし たいか(3つ) ②みんなが楽しむ ためのどんな工 夫ができるか ③どんな係が必要 か 7 決まったことの 発表 8 先生の話 9 話合いのふり返 り 10 終わりの言葉	・自分のめあてが言えるように事前に指導 する。 ・理由をつけて発表できるように助言する。 ・提案理由を意識し、みんなで楽しめるギ ネス大会の内容が提案できるよう助言す る。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は必 要に応じて助言する。 ☆相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝え理由をつ けて発表できるように指導する。 ・少数意見であっても発言の機会を与える。 ・自分の考えに固執せず納得した上で考え を変えるなど、折り合いをつけることも 必要であることについても助言する。 ・よかった点やめあてについて振りかえ るとともに友だちのよかった点などにつ いても相互評価ができるよう助言する。 ・提案理由を意識した発言や意欲的に参加 していた児童を称賛する。 ・学級目標を意識した内容であったこと、 計画委員へのねぎらい、実践への見通し をもたせ、事後活動への意欲が高まるよ う言葉がけをする。 ・学級会ノートに本時の学級会で決まった ことで自分はどんなことができるかにつ いて書かせる。	【思考・判断・実践】 ・学級が楽しくなるという 提案理由を踏まえた内容 で発言している。 <観察・学級ノート> 【知識・理解】 ・話合いの進め方や約束を 理解している。 <観察・計画委員会活動計 画> ◎キャリア教育 【人間関係形成・社会形成】 ・相手が理解しやすいよう に工夫しながら、自分の 考えや気持ちを伝えよう としている。 <観察>

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
11月16日(月) 昼休み 放課後	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・係の役割分担をする。	○学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう計画委員に助言する。 ○協力して活動できるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・学級会をふり返りながら活動をしようとしている。＜観察＞ 【思考・判断・実践】 ・ギネス大会の目的を考え友だちと協力して準備をしたり参加したりしている。 ＜観察・日記・ふり返りカード＞
11月17日(火) ～20日(木) 休み時間	・係の準備	○協力したり、工夫したり活動している子どもを称賛する。	＜観察・日記・ふり返りカード＞
11月24日(火) 5時間目	・「みんなで楽しめるギネス大会」 ・大会終了後、感想を記入	○自分の態度をふり返り、今後の生活に生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるよう助言する。	